

報道関係者各位
いつもお世話になっております。下記のイベントに
つきまして掲載・取材をお願い申し上げます。

令和7年4月30日
公益財団法人 帆船日本丸記念財団
帆船日本丸・横浜みなと博物館

柳原良平没後10年記念 柳原良平アートミュージアム

特集展示 橋と船の博覧会 開催

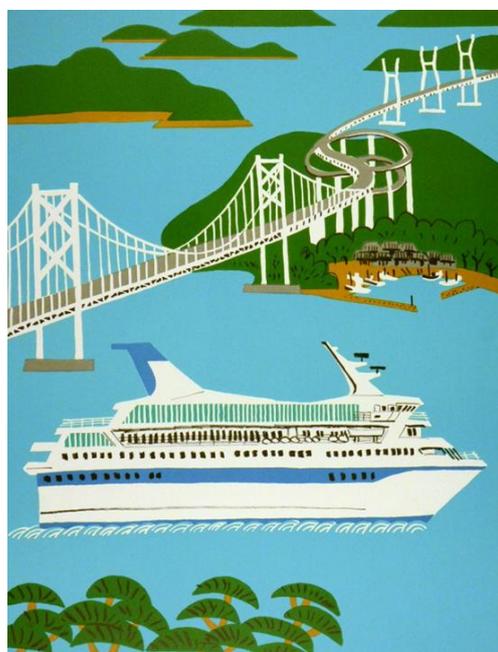
会期 2025年5月8日(木)～11月16日(日)

休館日：月曜日(祝日にあたる場合は開館し、翌日休館。6/2(月)、8/12(火)、9/22(月)は特別開館)

「橋は渡るものでなくて海から眺めるもの」柳原良平のエッセイより
今年で没後10年を迎える画家・柳原良平が国内外の橋と船を描いた作品を展示します。
横浜から関西・瀬戸内、そして世界へと各地の橋と船をめぐる旅に出かけましょう。

展示作品
約20点

瀬戸大橋とクルーズ客船

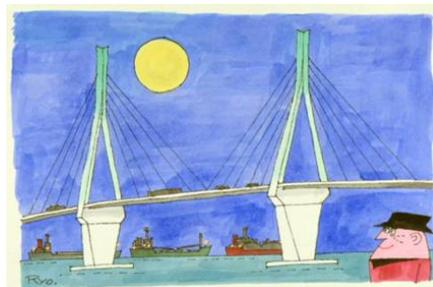


SOUND OF SETO 1988(昭和63)年
リトグラフ

瀬戸内海を航行するクルーズ客船。瀬戸大橋の香川県側を上空からの構図で描いている

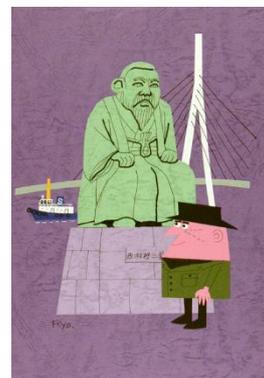
※画像データをご希望の方
はご連絡下さい

鶴見つばさ橋と貨物船



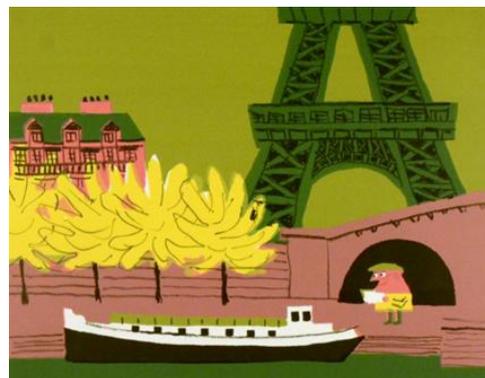
鶴見つばさ橋(仮題)
2008(平成20)年 水彩
同橋の名称選考委員を務めた柳原は夜のライトアップを気に入っていた

天保山大橋と大阪港のタグボート



西村捨三翁像(仮題)
2010(平成22)年頃 切絵
西村は明治期に大阪の築港を指揮した柳原の曾祖父。天保山公園の銅像と大阪港を描いた作品

パリ・イエナ橋とセーヌ川の遊覧船



Paris 2003(平成15)年
リトグラフ
パリ・エッフェル塔のそばにある橋のたもとで柳原本人がセーヌ川巡りの遊覧船をスケッチしている

- ▶ 会場 横浜みなと博物館 柳原良平アートミュージアム
- ▶ 開館時間 10:00～17:00 (入館は 16:30 まで)
- ▶ 入館料 一般:500 円、65 歳以上:400 円、小・中・高校生 200 円

※本展は横浜みなと博物館の入館券でご見学できます。※毎週土曜日は小・中・高校生は共通券が 100 円の特別料金となります。

※本イベントは横浜フランス月間 2025 の関連イベントです。

お問い合わせ先

(公財)帆船日本丸記念財団 学芸課 奥津/営業企画課 和田 TEL045-221-0280 〒220-0012 横浜市西区みなとみらい 2-1-1